

令和5年度第1回大船渡市環境審議会 議事録

1 開催日時及び場所

- (1) 日時 令和5年8月29日(火) 午前10時40分から11時40分まで
- (2) 場所 大船渡市役所 議員控室

2 委員の現在数 19人

3 出席者

- (1) 委員 15人

本多サト子〔岩手県環境アドバイザー〕
山田 亨〔林野庁東北森林管理局三陸中部森林管理署 署長〕
佐々木武〔国土交通省東北地方整備局釜石港湾事務所 副所長〕
岡田真次〔環境省東北地方環境事務所大船渡自然保護官事務所 自然保護官〕
中田浩一〔岩手県沿岸広域振興局保健福祉環境部大船渡保健福祉環境センター 所長〕
野崎 弥〔岩手県沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター 所長〕
新沼真弓〔防災士〕
木下正弘〔大船渡市公衆衛生組合連合会 副会長〕
武田暁子〔大船渡市地域婦人団体連絡協議会 副会長〕
大和田未紗〔大船渡市農業協同組合 総務課主任〕
伊藤淳子〔大船渡商工会議所 企画総務部課長〕
船越康宏〔太平洋セメント株式会社大船渡工場 製造部長代理〕
山崎 周〔岩手県食品衛生協会大船渡支会 指導員〕
金野玲子〔大船渡市食生活改善推進員団体連絡協議会 副会長〕
千田房代〔公募〕

- (2) 事務局 5人

大船渡市

市民生活部長 新沼徹

市民生活部市民環境課長 鈴木康代、同課 課長補佐 金野道程、

同課 係長 米田大祐

岩手県

大船渡保健福祉環境センター 環境衛生課 主査 白藤裕久

4 議事の経過(要旨)

【成立要件報告】

米田係長から委員19人中15人出席であり、委員の半数以上の出席があることから成立する旨を報告。

【会長及び副会長の選任】

会長に木下正弘委員、副会長に伊藤淳子委員を選任した。

【報告】

- (1) 第2次(旧)大船渡市環境基本計画に係る令和4年度事業実施状況について
 - (2) 令和4年度環境公害測定等について
 - (3) 大船渡市地球温暖化対策推進実行計画（事務事業編）に係る令和4年度実績について
 - (4) 大船渡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に係る令和4年度実績及び令和5年度計画について
 - (5) 令和5年度環境関連主要事業について
- 全ての報告について承認された。
質疑等は、下記のとおり。

- 質疑応答 -

- (2) 令和4年度環境公害測定等について

〔山崎委員〕

資料2で説明のあった令和4年度環境公害事案の悪臭について、原因究明には至らず未解決となっていたが、今年度においても悪臭を感じられた時があったと思われる。

令和5年度事業では、悪臭について必要に応じて捕集調査を行うとあるが、解決に向けて何を行ったか確認したい。

〔金野課長補佐〕

令和5年度については、事業者が悪臭調査を委託し、現在調査中である。今年度は昨年度と比較すると、悪臭の苦情件数が少ない状況である。

〔山崎委員〕

現在も悪臭の原因は不明か。

〔鈴木課長〕

原因は明らかになっていないが、気温が高くなると悪臭の苦情が増える傾向にある。

今年度は、気温が高くなる前に、昨年度の悪臭発生箇所付近の市と環境保全協定を締結している事業者に対し、施設の適切な管理方文書で要請した。

- (5) 令和5年度環境関連主要事業について

〔本多委員〕

ごみの分別について、一般廃棄物試験分別収集事業はモデル地区を対象に行っているが、市内全域での実施予定はあるか。また、この事業はいつから実施しているのか。

〔鈴木課長〕

同事業は震災前から始まり、対象地域を拡大して現在のモデル地区となっている。

ごみの処理は、大船渡地区環境衛生組合において、大船渡市と住田町分を合わせて行っているため、全域実施については、大船渡地区環境衛生組合及び住田町と協議しているが、費用の問題もある。

また、国において令和4年4月1日にプラスチック資源循環法を施行し、プラスチックごみをモノからモノへリサイクルすることを努力義務としたことから、プラスチックリサイクルへの転換等、今後の取組について検討している。

〔本多委員〕

子どもの頃から、ごみを分別するという意識付けをすることが必要である。

分別の取組を進めるよう検討いただきたい。